

地震予知は電磁地震計で可能

地震予知は

揺れを計る地震計では無く
電磁気を観測すれば

1週間(~3日前)に判ります！

予知の3原則

いつ = 1ヶ月以内

～ JYAN研 = 数日前

どこ = 地方単位

～ JYAN研 = 県単位

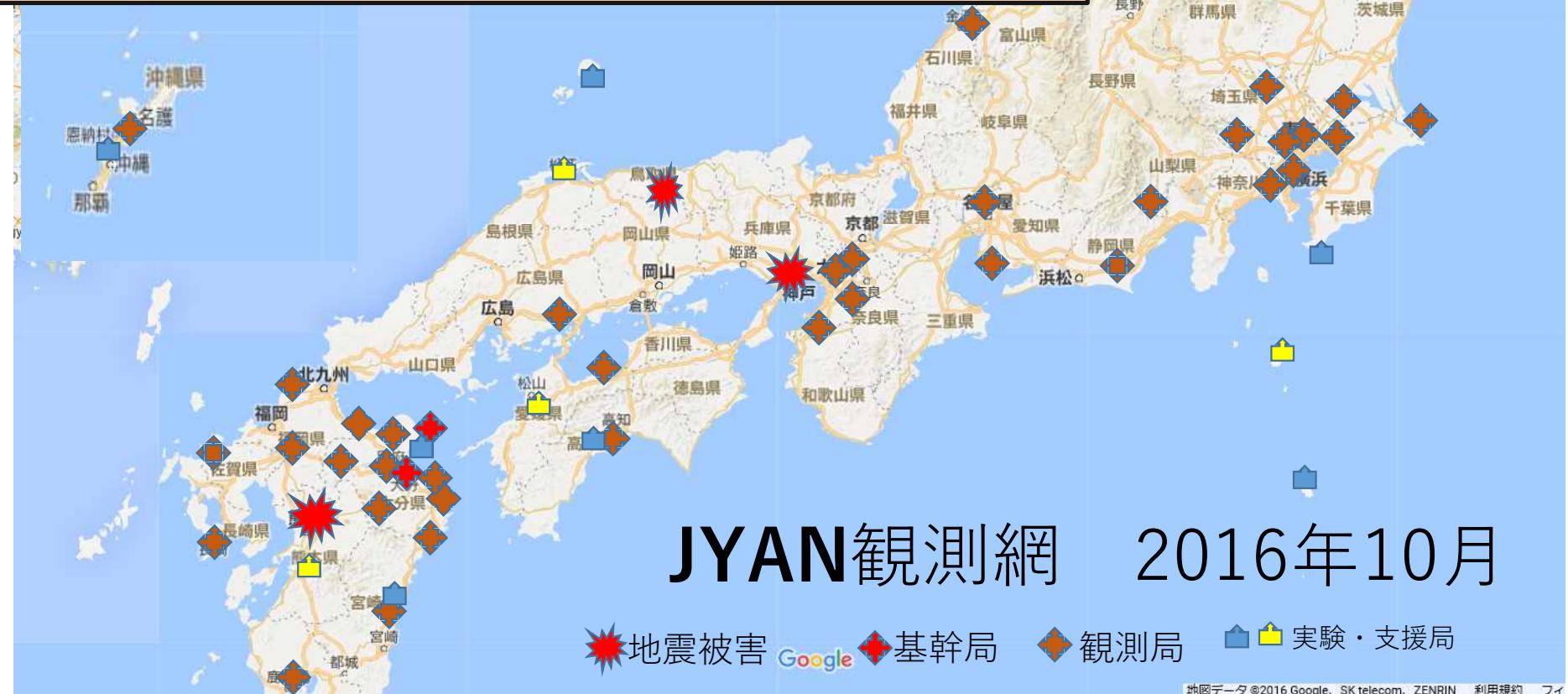
大小 = MG又は震度 ± 1 ～ JYAN研 = $\pm 0.5 \sim \pm 1$

最も正確だから

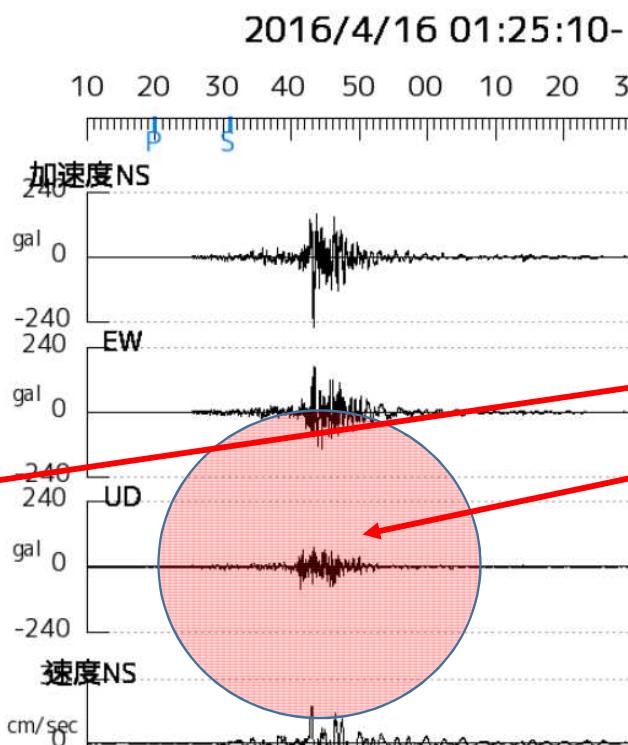
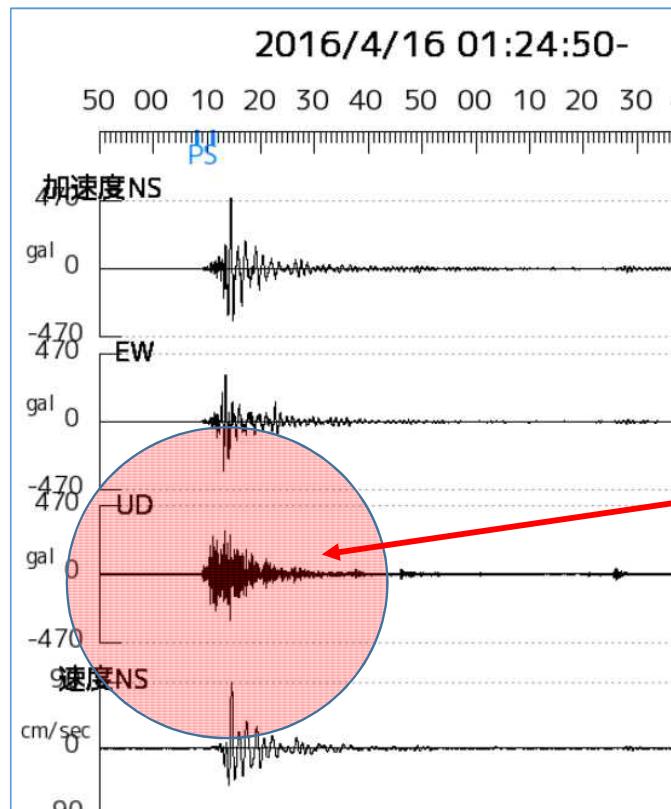
夢の地震予知を実現するJYAN研

國 廣 秀 光

FM等電磁波の観測網で
200波以上LIVEで観測中!!



熊本地震のデータ 「縦揺れ」が激しい！
(地震は揺れ方によって破壊度が違うのだ。)



これで棟が破壊
強震 & 縦揺れ！

赤丸部分が
上下動です

震源と阿蘇では
こんなに違う！

JYAN研究会の紹介

- ・2007年 5月 災害情報学会、日本地震学会などに入会、その後日本地球惑星科学連合学会入会
- ・2009年 5月 ハムの月刊誌「CQ」で4月・5月に研究会員募集、15名でJYAN研究会発足
- ・2009年10月 日本地震学会(京都大学)で地震電磁波などの監視方式などを発表
- ・2011年10月 日本地震学会(静岡)で電磁気などの異常理論を発表
- ・2012年 8月 東京ビッグサイトのハムフェアに出展(このときから、毎年展示～連続5回)
- ・2013年 7月7日 JYAN大分ネット第2回総会で研修会を実施
- ・2013年10月2日 産経新聞夕刊「1面トップ」にJYAN研究会紹介
- ・2014年 3月14日 2時7分頃伊予灘で地震発生 全面記録できる
- ・2014年12月25／26日 日本地震予知学会(電通大)で2項発表
- ・2015年 5月25日～26日 JGUの学会大会(幕張)2項の発表
- ・2016年4月14&16日の熊本地震でM7クラスが2回来る事を観測と予測できたのはJYAN研のみ！

学会等の発表及び講演 日本地震学会4回、JGU3回&講演21回 16年のニュースレターにJYAN研載る！

記事=CQ5回新聞4回 観測網は全国で50局が(200波)を観測中！

会長 JH6ARA 國廣秀光

地震予知アマチュアネット(電磁Proの地震前兆ノイズ研究調査会)

会員 ML等で 350名超

大分県 国東市

JYAN研究会
とは

地震予知安全Net
(JYAN)

地震予測観測網
(FM観測網)

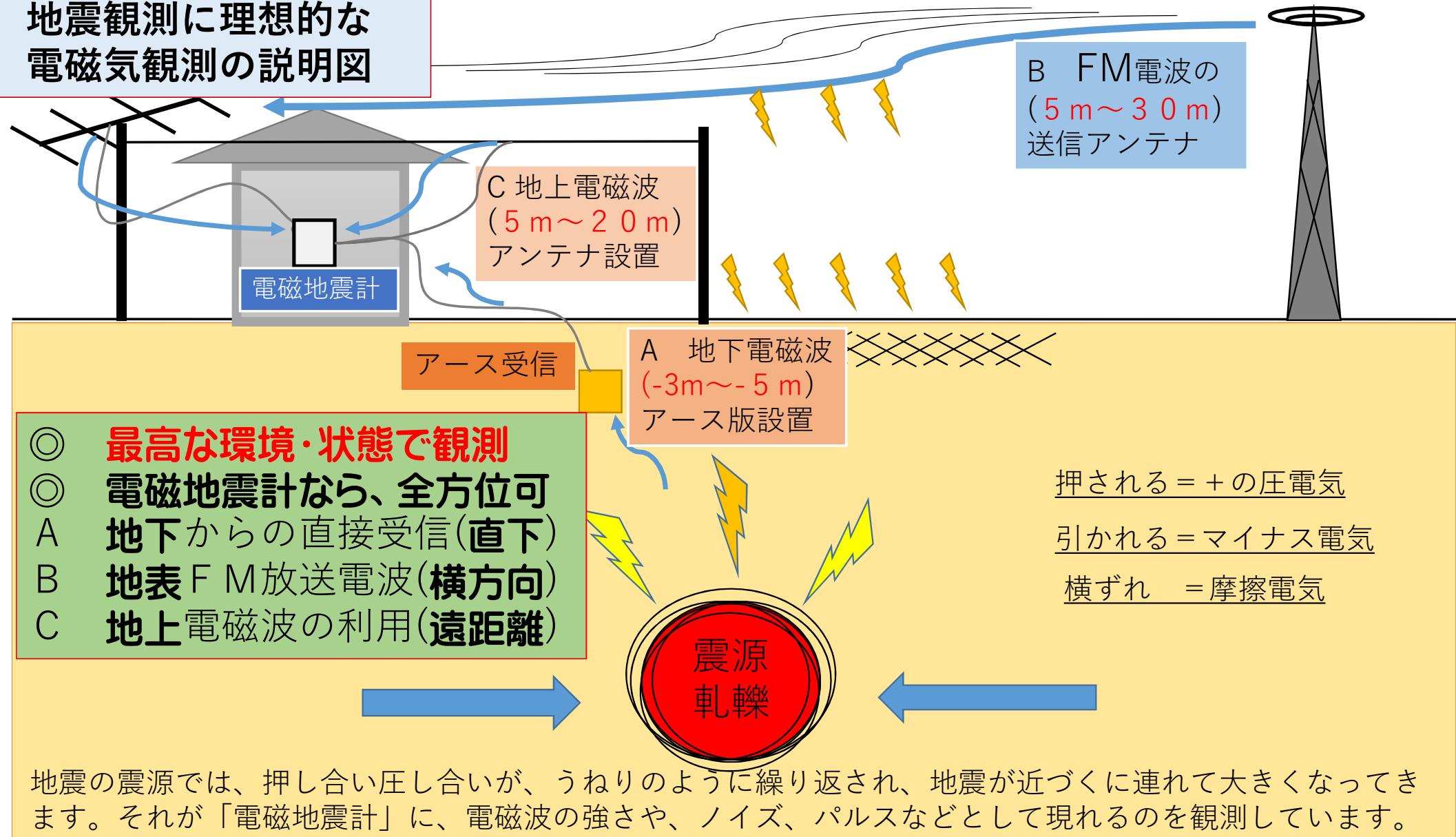
JYAN研究会
全国に
M約350名

観測網50名以上

広報サイト
もあります。

<http://pr.jyan.jp/>
<http://jyan.biz/>

地震観測に理想的な電磁気観測の説明図



地震電磁地震計の現用機



試作2号機
表五

ANTと電源、LANケーブルを繋ぐと全国ネットのサーバーに接続し、4cHの観測を開始します。
(事前設定済)

[ラジオロガー
V3]



今度は・・・・

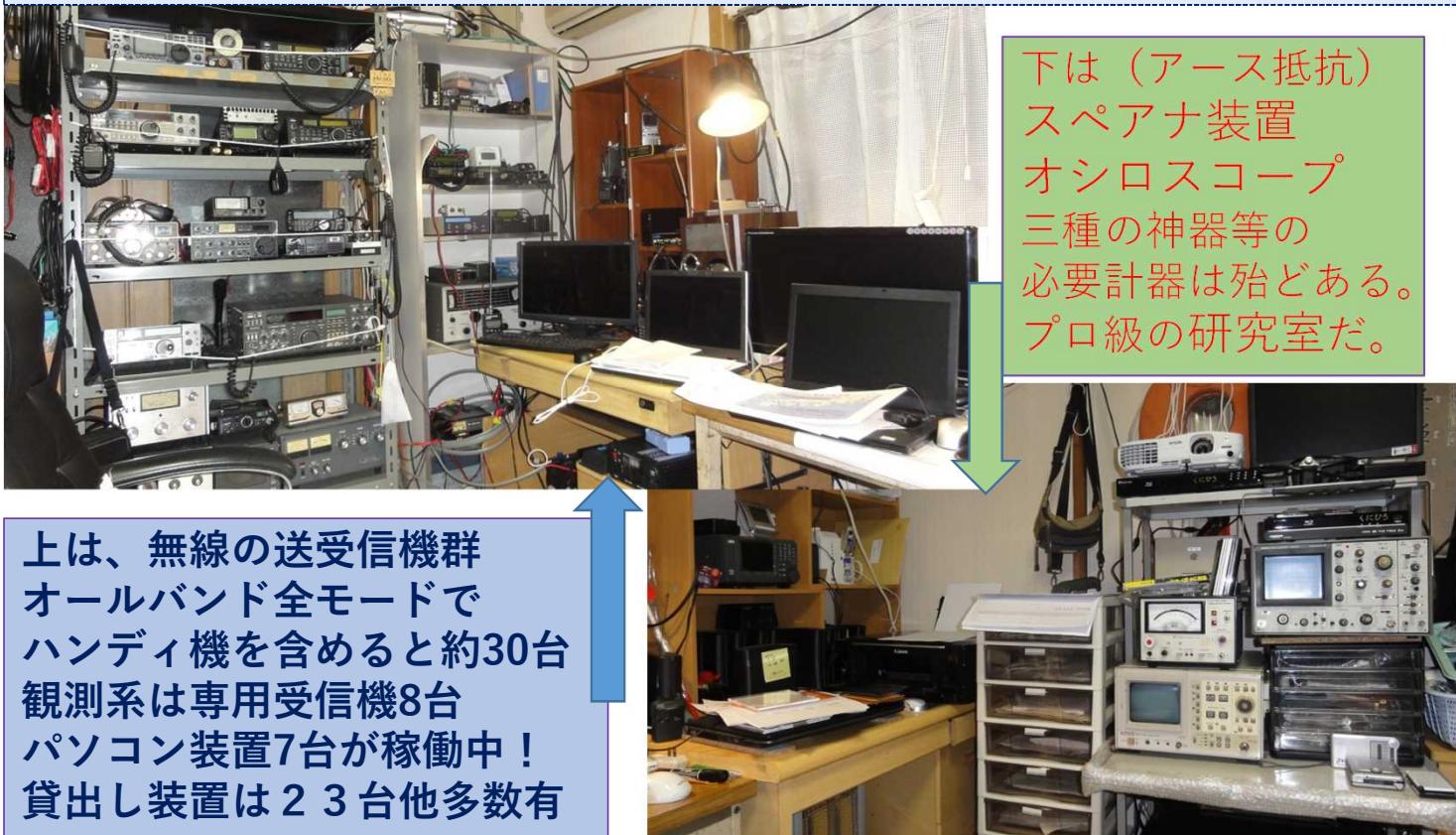
最先端の観測技術
に新発想のIT技術
地震観測専用の
◎電磁気地震計と
◎観測システムを
試作中です。

21年の地震研究
50年の無線技術
10年の学会研修
観測の記録10年

これらが融合して
世界最先端の
地震観測システム
ができるのです。

電磁波観測装置と無線機群！

輸入の高級スペアナやSDR等＝プロ級



左の装置群は
これ迄地震観測に
利用した装置群！
しかし
これからは・・・
I T (情報技術)
A I (人工知能)
A R (拡張現実)
等のテクノロジー
を活用した機器の
開発が、世界を
リードします。

JYAN研究会

- ・産経新聞(10.2日)
 - ・夕刊「1面トップ」に
 - ・掲載されました。
 - ・2013年10月2日

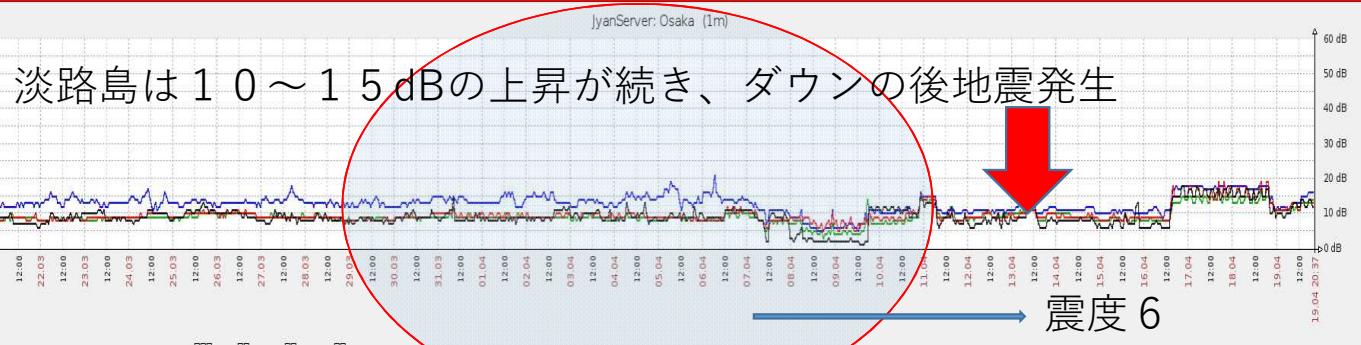
「Web版」msn
産経も見られます。

その他
各種新聞や雑誌に載りました。



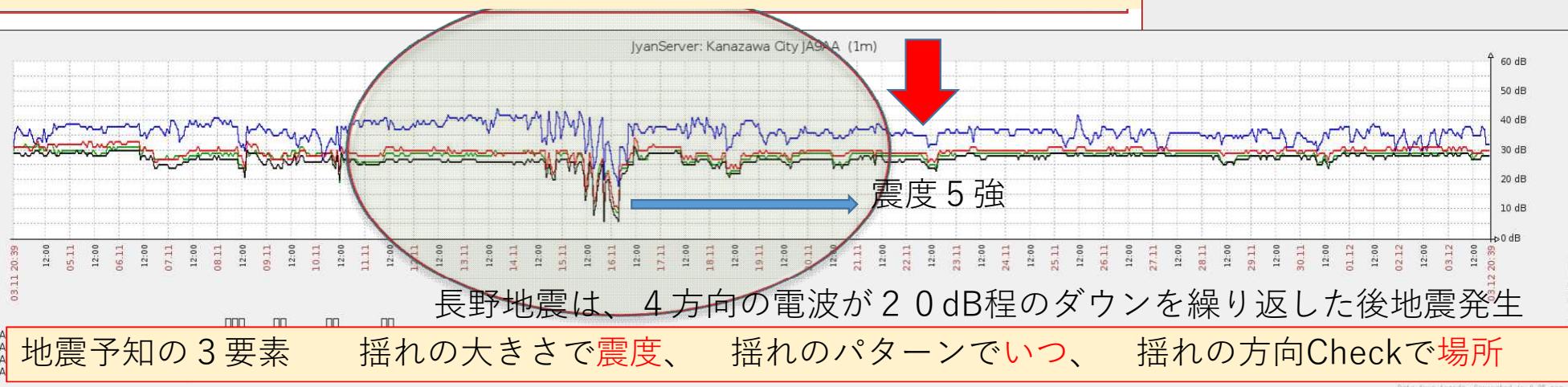
地道な勉強や資料調べ
地震の勉強
地球の勉強
宇宙の勉強
電磁気の研究
ノイズの観測
地球と太陽系の研究
引力や潮汐の研究
電磁波伝搬の研究
気象変化の研究
電波伝搬の研究
低周波の観測
中波の観測
短波の観測
FM波の観測
V/U波の観測
異常伝播の観測
各種記録データ纏め
各種現象の照合
新現象の発見
地震と電磁変化
の発見証明 21年間

地震の観測例 (どちらも1週間後に地震発生) 淡路島地震と長野地震



淡路島は
レベルアップ 当観測は
(逆断層型) = これって
(2013年4月) 淫い

長野地震は
レベルダウン
(正断層型) = これも淫い
(2014年11月)



HAMの「社会貢献」 月刊CQ誌に5回掲載！

ハムなら地震予測ができる！ 2009年4月&5月号で、地震研究と観測技術や理論等を展開しました。！



「どうして地震の前にノイズができるの？」
に実例を示して優しく解説しています。4P



電磁気観測による「地震予知」の根本原理が次第に明確になってきました。今月号は、地震を予測し、命の安全確保と予測観測の活用を薦めています。(5Pでの解説)



なぜ？電磁波が揺らぐの？ に筆者が観測データを示し、根本的な理論を展開して詳しく解説しています。

また、特集では「JYAN研究会」の各局の活動が「9P」の圧巻で紹介されました！ 読み応えがあります。

最初に取り上げてくれたのが2009年4/5月号です。次が2010年の2月号で、多くの何故？や、理論に答えています。

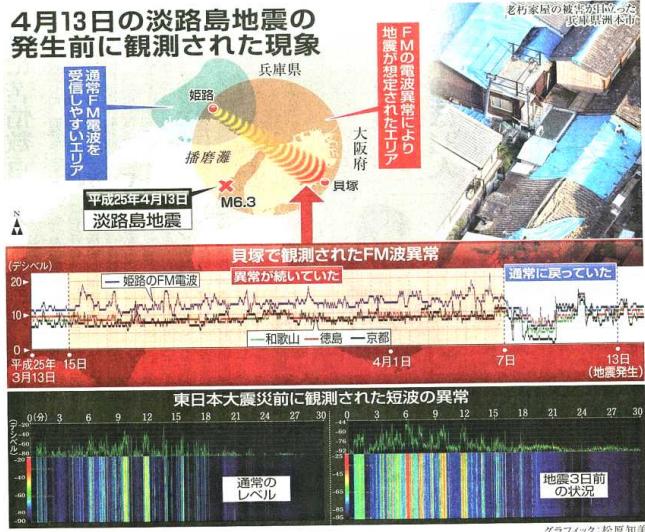
2013年10月号Amateur無線家の社会貢献と言う内容で掲載されました。

2014年11月号は9Pの圧巻です。研究仲間も多く出ました。



JYAN研究会が全国紙に！ 見開き半分

9 特集 4版 平成25年(2013年)10月23日 水曜日 産業 市場 週刊 夕刊 第三種郵便物認可



防災耳寄り情報

帰宅困難時やガレキ道で活躍

平成23年3月11日の東日本大震災の際、東京都内では電車など交通網がまひし、多くの帰宅困難者が発生した。この際、活躍したのが自転車。都内の自転車店には客が殺到する事態となってしまった。



守れ いのち!

恐れすぎず身近な理解を

「桂樹住友による往機」の危险性

取り上げられた回数は
新聞
3回

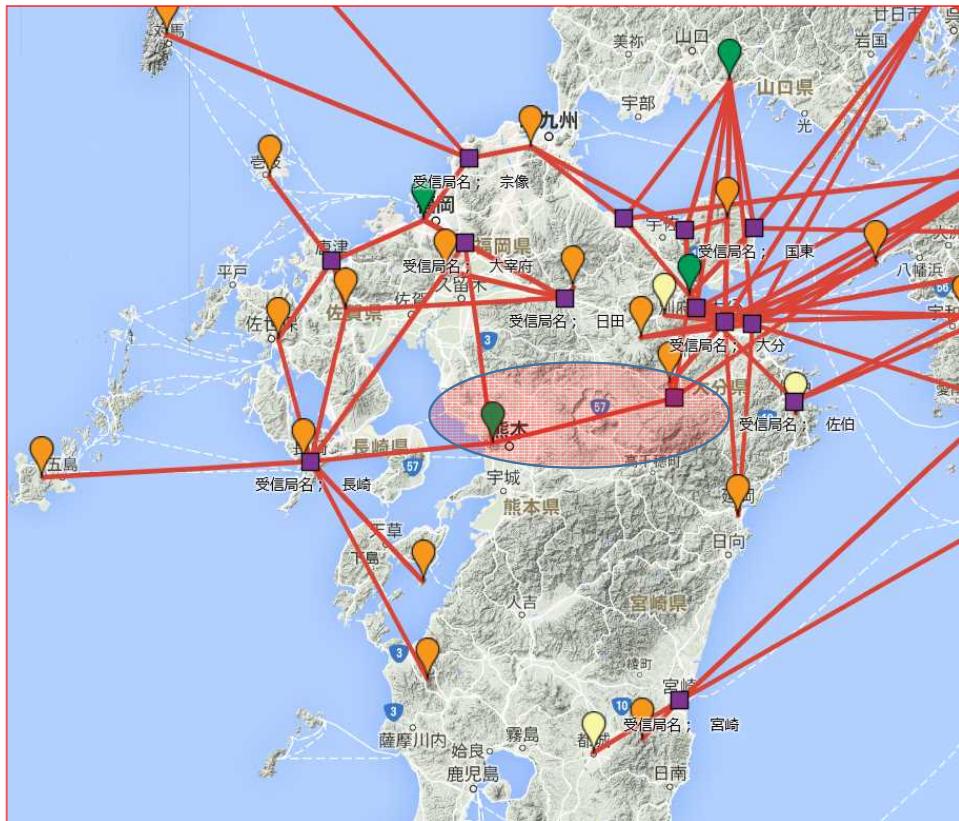
テレビ
1回

月刊誌 5回

週刊誌
1回

講演 7回以上

地震観測は
電磁波を！
が定着しま
した。



上 現在、九州の観測 状況図=竹田局捕捉！

熊本県の知人(6人)に観測の協力を依頼しましたが、
熊本は地震が無いところだから。と言う事で熊本県
には、当地震観測網の局がありませんでした。
そんなところに限って……。

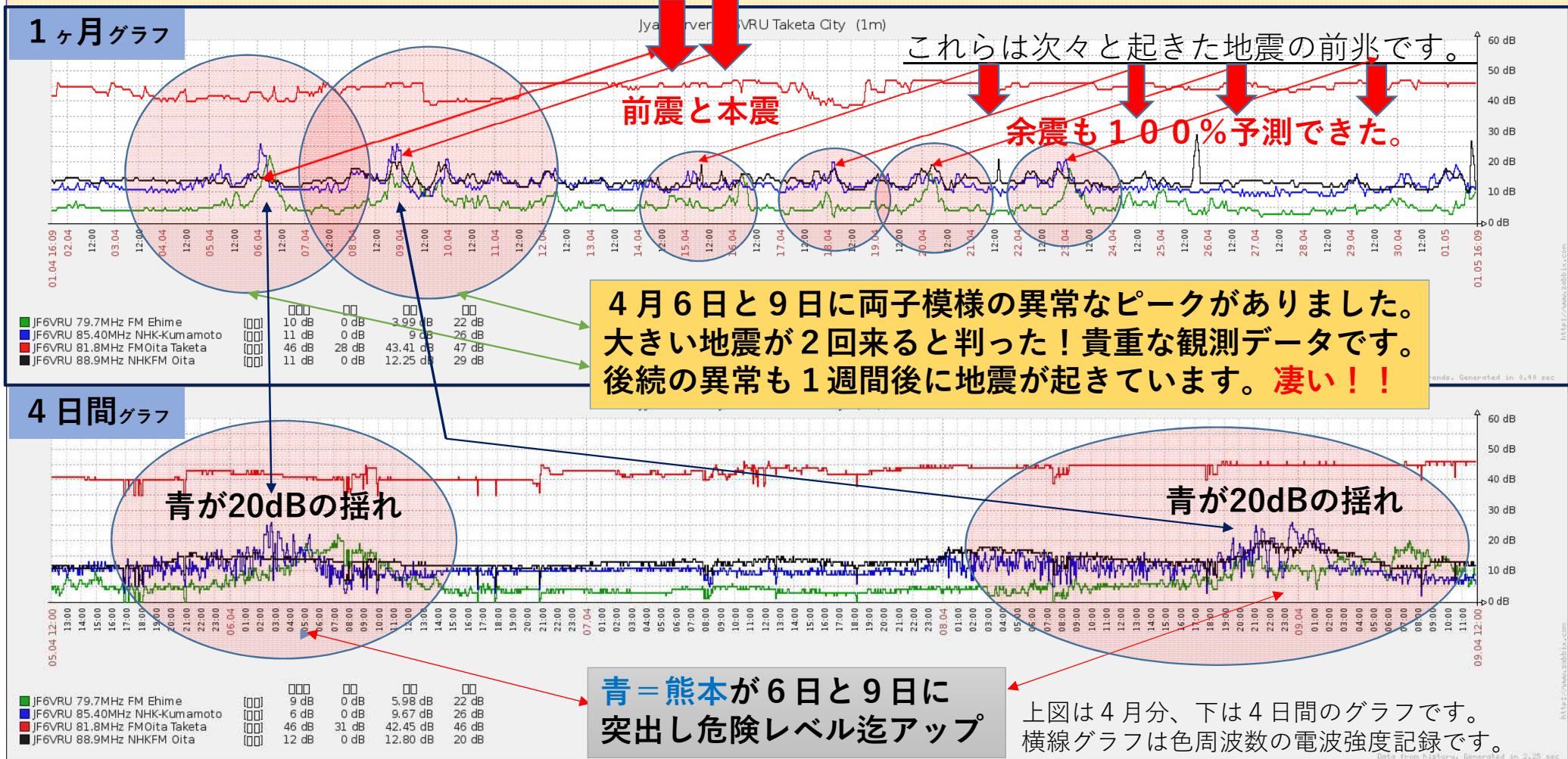
下 全国の観測網 予定図200~600局

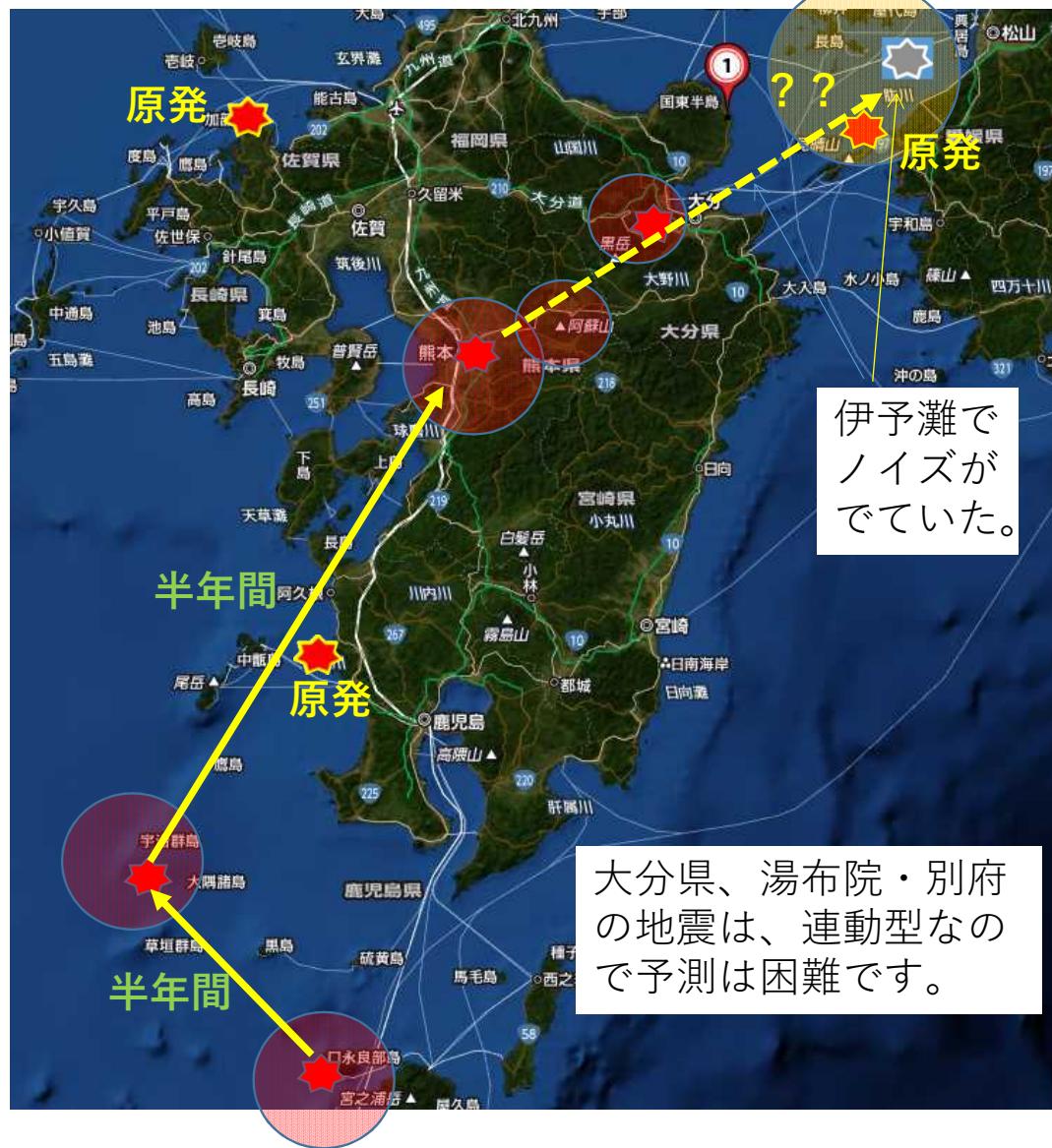


毎日24時間の観測と記録

- 全国でFM観測網が **43局** **200波**超の観測と記録
2010年から 7年間継続しています。
- 全国でHF観測網が 7局 **HF全波**の観測と記録
2006年から観測網として継続しています。
- 全国でVHFの観測網 5局 **異常**が出たときに観測します。
観測網があります。 **記録用ハードディスクが50個**

絶賛 正確な観測で「余震」まで確実に予測できた。





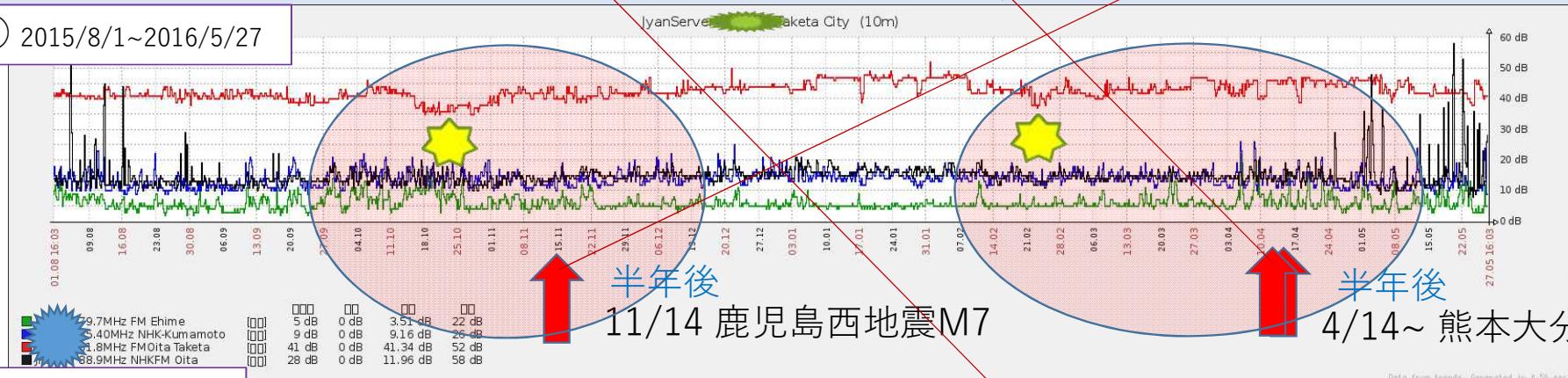
地震と火山は連動しています。

喜界島、阿蘇山等がカルデラ陥没と言われています。(しかし別府湾や鹿児島湾、志布志湾も同様と考えています。)

噴火があると空洞の穴埋めで、横ずれの地震が発生し、連動型の地震を励起します。

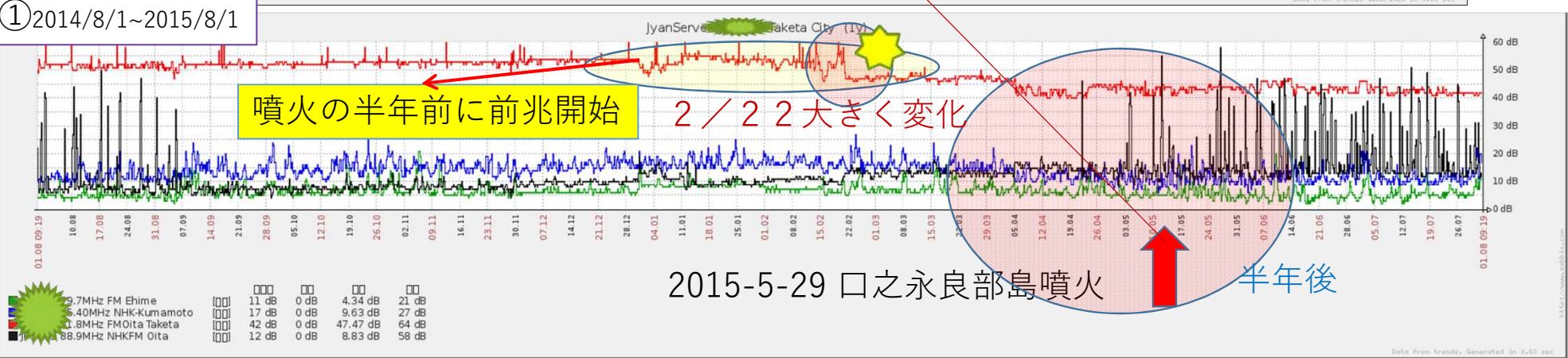
口之永良部島の噴火から、半年後に鹿児島西M7
 その半年後に熊本-大分地震M7.3が発生！ 今度は10月？

② 2015/8/1~2016/5/27



大当たり

① 2014/8/1~2015/8/1



私は 地震学術 3 学会員です

- 日本地震学会、日本地震予知学会、日本地球惑星科学連合学会の学会員です。
- 地震予知学会は発足時の検討会委員を勤めました。 (17名)
- JYAN研究会(地震予知アマチュアネット)と地震予測観測網を主宰しています。
- J Y A N 研究会のHP閲覧者が増え、地震予測の配信希望者が増えています。
- 研究会の会員 (ML)は約350人で、常時観測しているNet会員は約50局です。



上 地震予知研究センターの
センター長 長尾年泰教授
○地震予知関係コメンテーター
○日本地震予知学会の副会長
(東大出身)

私の研究室を見学して、技術の高さを賞賛、論文共著の申出あり。
日本地震予知学会早川会長からも論文共著の申し出がありました。

資料

資料
①JYAN研究会
ホームページです。
研究概要を掲載
特に観測局の情報が
人気です。

②地震予測観測網
は、実際に観測してい
る方向けのHPです。
専門的な解説等が
含まれています。

③「JYAN研」のスマート用HPが好評です。毎日の情報が見やすいと頼りにされています。

[http://www.oct-
net.ne.jp/~jh6ara/](http://www.oct-net.ne.jp/~jh6ara/)

JYAN研究会HP 地震予測観測網HP

①左はJYAN研究会(公開中です)
②地震予測観測網(観測網会員のみ)
左下は
③HAMIC FS(未公開)

結 論

- 地震予知は、電磁的に観測すれば「**可能！**」
(熊本地震で、2回来るのが判っていたのはJYAN研のみ！)
- 全国に電磁地震計を 600ヶ所以上必要 (地震計約3,900所)
(当面 200ヶ所で、重要拠点又は地域から敷設中です。)
- 観測システムと観測網の敷設が必要です。
- 観測及び協力者募集中 (**JYAN研**)